

# 2017年度 漢城大学校サマープログラム報告書

函館校 地域協働専攻 国際協働グループ 2年 一戸結菜

私が今回このサマープログラムに参加しようと思った理由は、中学生の時に韓国で行われた英語を学ぶプログラムに参加したことをきっかけに、韓国人の友達ができ、韓国の生活文化や、日本との違いに興味を持つようになったからです。また大学で、第2外国語として韓国語を学んでいくうちに、韓国の大衆文化やドラマなどに関心を持ち始め、将来は、英語だけでなく韓国語も使うことができるような仕事をしたいと思うようになりました。このプログラムで、韓国文化を体験しながら、韓国の生徒との交流を通じて、韓国語を学ぶことができれば良いと思っていました。

この報告書では、午前中に受けた授業内容と寮での生活、訪れたところ、韓国で食べたものについて、いくつか紹介したいと思います。

## ～授業内容と寮での暮らし～

プログラム期間中は、毎日10時から12時まで、韓国の地理や政治、文化などの勉強と、韓国語の勉強がありました。最初の1時間は、漢城大学の土井美穂先生による、韓国文化の授業で、残りの1時間の韓国語の授業は、グループに分かれて、各グループに韓国人の **buddy** が付いてくれて、主に発音の指導をしてくれました。

土井先生の授業では、韓国と日本にある同じ言葉に対する意味の違いについてや、日本では目にしない果物などについて教えてもらいました。また、韓国の礼節については、日本には無いものや、伝統食についてもたくさん学ぶことができました。韓国の大衆文化として、歌番組の一部などの映像資料を用いるなど、わかりやすく、楽しい授業でした。

韓国語の授業では、単語の発音を集中的にしましたが、基本的な文法や、作文の添削などもしてもらいました。発音では、日本に無い韓国語の激音や濃音などを **buddy** たちが丁寧に教えてくれました。

これまで、韓国の政治や文化について集中的に学ぶ機会は無かったので、このように韓国に滞在しながら学べることはすごく良い経験になったと思います。また、韓国語の授業は、韓国人のネイティブの発音を聞いて練習することができ、実際に **buddy** たちと会話することによっても、授業内容を復習することができたので、韓国語の能力はこのプログラムに参加する前に比べてすごく上がったと思います。

学生寮では、2～3人で1部屋を共用しました。部屋は新しく、暑い中でも快適に暮らすことができました。各階にウォーターサーバーが設置されていて、洗濯機もあるのでたくさん服を持って行く必要はありませんでした。朝ご飯は、寮の近くにあるコンビニなどで前の日に買っておくなど、各自で準備していました。

～訪れたところ～

○景福宮

景福宮は、5 日目に訪れた朝鮮王朝の史跡です。景福宮には、みんなで韓国の伝統衣装を着て入城しました。韓服を着てガイドさんの話を聞きながら、城内を回って朝鮮の建物の伝統様式や当時なされていた生活の工夫を見ることができました。



↑ 景福宮にて韓服体験



↑ 王の玉座

○ロッテワールド

ロッテワールドは、12 日目に訪れたアミューズメント施設です。施設は、屋内と屋外に分かれており、フードコーナーや、大人から子供まで楽しめるようなアトラクションやパレードが人気です。この日は、buddy と一緒に自由にロッテワールド内で遊ぶことができました。最後には、ソウルを流れる漢江のそばでチメク (치맥) パーティーをしました。みんなで、チキンとビールやジュースを楽しみながら、ゲームをしたりしました。



↑ buddy のガヨンさんと



↑ これから行くよ～！



↑ チメクパーティー



↑ 漢江の夜景

～韓国で食べたもの～



↑ チキン



↑ カムジャタン



↑ サムゲタン



↑ バナナウ

今回、この漢城大学サマープログラムに参加して、様々な体験をし、韓国の学生たちと交流することによって、大学生活の中でかけがえのない思い出を作ることができました。漢城大学の **buddy** の皆さんは、私たちが楽しくプログラムに参加できるよう、いろいろな工夫をしてくれ、彼らともとても仲良くなることができました。現地で生活しながら実際に韓国文化を体験していく中で、良い面も悪い面も含め、たくさんの発見があり、毎日が貴重な体験でした。これから学生生活を送る上で、見方が変わり、自分の

視野が広がったように感じました。もしも、このプログラムに参加しようか迷っているのなら、迷わず参加することをお薦めしたいです。